

- ① 小児がん治療・支援の充実のために  
・新年の挨拶
- ② ラビッド・レスポンス・システムのご紹介  
・季節のお話/冬の感染症にご用心  
・クリスマス音楽会  
・ナディック通信
- ③ 名大病院アメニティのご紹介  
・病院からのお知らせ/提案書からの改善報告  
・平成 26 年度鶴舞公開講座を開催  
・旧東西病棟とりこわし工事について  
・禁煙のお願い
- ④ 【診療科ピックアップ】消化器外科—3D プリンターによる臓器模型を手術に活用  
・健康講座/歯科口腔外科  
・ミニニュース  
・看護師募集  
・かわらばん HP のご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。  
基本方針 ● 一.安全かつ最高水準の医療を提供します。 一.優れた医療人を養成します。  
一.次代を担う新しい医療を開拓します。 一.地域と社会に貢献します。

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーがご覧いただけます



特集 TOPICS ①

小児がん治療・支援の充実のために

名大病院は 2013 年 2 月、厚生労働省が選定した全国 15 か所の「小児がん拠点病院」にトップの評価で選ばれました。拠点病院として意欲的に取り組んでいる様々な取り組みについて、小児科長の小島勢二教授にお話を伺いました。

長期フォローアップで援助  
小児がん患者の入院は半年から1年と長くなることが多く、保護者は治療の次に「勉強が遅れるのではないかと心配されます。小児科病棟では従来の院内学級(愛知県立大府養護学校施設内教育)をさらに充実。14人の専任教員が小中生を教えるため、正規の授業

骨髄移植病床が増加  
名大病院が小児がん治療の中でも高い評価を得たのは、特に難しいとされる造血幹細胞移植に関して新規治療法を開発したことです。10年ほど前からウイルス感染症や急性GVHDなどの移植合併症を克服する研究に取り組み、成果を上げてきました。

よりよい治療環境の整備  
2013年秋には「小児がん治療センター」を設置。さまざまな診療科の医師や看護師、チャイルド・ライフ・スペシャリストらが連携し、よりよい治療を目指して活動しています。

子供の死因は1位が不慮の事故、2位が小児がんです。子供のがんは大人に比べて患者数が少ない割に種類が多く、難治性の患者さんご家族からは「設備の整った病院で経験豊富な医師に診てもらいたい」という強い要望がありました。その声に応えて選定されたのが「小児がん拠点病院」です。

私たちが目指しているのは、まさによい治療法がない小児がんには新規治療法を研究開発すること。治療法が確立された小児がんは、世界トップの海外の病院と同じ治療を名大病院でも受けられるようにすることです。それが「小児がん拠点病院」に選ばれた名大病院の使命だと思っています。

また、昨年1月には病院の北西に「ドナルド・マクドナルド・ハウス(なごや)」が竣工。遠方から入院する子供の家族のための宿泊施設で、家族には安く泊まれ、設備が整っていると好評です。

私は小児医療に30年間携わっている中で、成人に達した元患者さんをたくさん知っています。小児がんだったことを前向きに受け止め、人の役に立ちたいと医学の道へ進んでいる元患者さんが多いことを嬉しく思っています。

また、小児がんは治療したら終わりでなく、後遺症が出ないかを将来にわたって見守ることが必要です。そのため長期フォローアップ外来でホルモンの分泌能など全身をチェックすることで、患者さんが社会生活に適応するための手厚い援助を他の診療科とも連携しておこなっています。

新年の挨拶



病院長 石黒 直樹

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の暮れに名大病院にとって明るい話がありました。機能強化棟の新築工事が決定されたことです。旧東西病棟は歴史を感じさせる佇まいで、それなりに立派でありましたが、如何せん耐震基準も満たせず、防災上の課題となっていました。これがそっくり最先端設備の建物に変わります。これも職員をはじめ、関係者の皆様のご尽力によるものと感謝申し上げます。

大学病院は常に最新・最先端の医療を国民から求められる存在です。当院の存在目的は①医療提供機能の充実、②人材の育成、③高度医療・次世代医療の開発です。この新たな建物はその目的を達成するために建設されるものです。

鶴舞地区に名大病院が移転して101年目に当たる本年に工事が始まることは、次の100年を始める第一歩を飾るに相応しいと思います。最後になりますが皆様のご多幸を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



事務部長 塩崎 英司

明けましておめでとうございます。病院長のご挨拶のとおり、医学部と附属病院が現在の中区州崎神社北側から鶴舞地区に移転して百年が経過しました。1914年に老朽化した施設を改築するため、敷地面積が3倍となる、鶴舞に移転してきました。その後、安全で最高水準の医療を提供するため、増改築を重ね、現在、再開発計画の最終段階となっています。

百年前は3倍だった敷地も、優れた医療人を養成し、次代を担う新しい医療を開拓する医学部と附属病院の施設で満杯となり、本院を信頼し来院して下さる患者さんの医療ニーズに応える事が困難な状況となつてあります。

敷地面積を最大に活用するため名古屋市に容積率緩和も含め協力を要請しているところです。

今後は、超高齢化社会に対応する手術室等の増設を中心とした機能強化棟を建築すると共に、名古屋通信病院を始め、地域社会に貢献する医療連携を進める予定ですので、ご支援とご理解をお願い致します。



看護部長 三浦 昌子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、先生方をはじめとしてコメディカル、事務の方々には、病院運営、人材確保、教育など多岐にわたりご支援を頂きありがとうございました。

年々医療制度が大きく変わるなか、看護部は、中長期展望をもって、変化に対応した看護提供や人材育成の仕組み作りが必要だと考えています。機能強化棟の建設に向けての準備が進められてきておりますが、昨年は看護部の関わりが薄く、今年は、計画的な人材確保と育成計画を立て実行したいと思っております。

また今年度は、外来における専門看護によるサービスの質向上と外来看護への機動的な支援を充実させていきたいと考えます。さらに、ベッドコントロールセンターを立ち上げ効率的な病床運用をしたいと思っております。今年も1年よろしくご協力をお願い致します。



# ラピッド・レスポンス・システムのご紹介

医療の質・安全管理部 兼任GQSM  
高橋 英夫

日本の院外心停止症例の社会復帰率は6%程度で、院内発生的心肺停止症例の救命率は良くて2〜3%とされています。入院中なのに何故、そんなに成績が悪いのでしょうか？ 要因はいくつか考えられますが、心肺停止等の急変事態が発生しないように事前に対応することが重要です。そのための取り組みが「ラピッド・レスポンス・システム・RRS」です。

RRSは、心肺停止等の緊急事態に対応する所謂コードブルーとは異なります。RRSは1つのシステムで4つの要素から構成されます。

- ①急変が起こる数時間前に血圧、呼吸数等のバイタルサインに異常を示す頻度が高いことが報告されており、これらの兆候を認識すること
- ②「ラピッド・レスポンス・チーム・RRT（救急科医師、救急・内科系集中治療部看護スタッフで構成）」に連絡し、RRTは1時間以内には要請のあった部署に赴き、評価と対応（経過観察、治療、専門診療科へのコンサルト、ICUへの移送等）を決定すること
- ③各々の要請に対する振り返りを行い、必要に応じて

RRSのシステム改善を行うこと  
④RRS全体が円滑に運営されるように管理することの4つです。

RRTを起動するには、患者さんの異変に「気づく」ことは非常に重要で、そのため、研修を通じて周知するとともに、「RRT起動基準」をネームカードに入れて参照できるようにしています（写真参照）。また、起動基準の項目の一つは「何らかの懸念がある」となっており、医療スタッフに限らず、患者さんの家族、親戚、友人等の方が「いつもと違って、何か変だな」と感じた場合には、スタッフに声をかけて頂くことも役に立ちます。

日本では導入がようやく始まったRRSも、欧米の主要な殆どの病院ではその存在は自明のこととなっています。

今後患者さんの安全の一層の向上に向けて、院内救命の質向上ワーキングを中心に、円滑なコミュニケーションを取りながら努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

①急変が起こる数時間前に血圧、呼吸数等のバイタルサインに異常を示す頻度が高いことが報告されており、これらの兆候を認識すること

②「ラピッド・レスポンス・チーム・RRT（救急科医師、救急・内科系集中治療部看護スタッフで構成）」に連絡し、RRTは1時間以内には要請のあった部署に赴き、評価と対応（経過観察、治療、専門診療科へのコンサルト、ICUへの移送等）を決定すること

③各々の要請に対する振り返りを行い、必要に応じて



「RRT 起動基準」



平成26年度（前期）「医療安全・感染対策・医薬品安全研修」において、病院全職員へRRS周知の様子

## クリスマス音楽会

5年前から始まったクリスマス音楽会・夏の音楽会に引き続き、平成26年12月24日（水）に看護部QCプロジェクト主催によるクリスマス音楽会が開催されました。11回目となる音楽会では、看護部の皆さんによるハンドベル演奏から始まり、歌やバイオリン演奏、フラダンス、みんな合唱などの多彩なプログラムで、寒い中参加された多くの患者さんと楽しいひと時を過ごすことができました。

司会の安井先生と林看護師

循環器内科の先生による演奏

ハンドベル演奏

## 季節のお話

### 冬の感染症にご用心

中央感染制御部長 八木 哲也

今年はデング熱やエボラ出血熱などの、新しい感染症が話題になっていますが、毎年冬に流行する感染症があり、注意が必要です。

まず、第一はインフルエンザです。インフルエンザは、普通の感冒とは異なり急速に発症する発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感を特徴とし、咽頭痛、鼻汁、咳、痰などの上気道炎症症状を伴います。高齢の方や、基礎疾患のある方は症状が重くなることがあるので、疑われた場合は早期受診が推奨されます。ウイルスは咳やくしゃみによって発生する飛沫によって伝播しますので、症状のある方はサージカルマスクを着用して周囲に飛沫が飛散しないようにします。ワクチンには発症予防や重症化予防効果が期待できます。インフルエンザの後の肺炎予防のため肺炎球菌ワクチンも合わせて接種しておくといでしょう。今年は肺炎球菌ワクチンが高齢者で定期接種化されましたので、主治医の先生に接種の機会を相談してみたいかがでしょうか。

ノロウイルス感染症は、通年性に見られますが特に冬に急性胃腸炎を引き起こします。ウイルスは感染力が強く、汚染された魚介類や生野菜などの食品を介して、患者の吐物や下痢便を介して経口感染します。感染対策としては手洗いの励行、患者さんの吐物や下痢便の処理には細心の注意が必要です。ノロウイルスはアルコール製剤の効果が弱いので、手洗いは流水と石鹸で、消毒は次亜塩素酸系の消毒薬を使用して下さい。

## Nagoya Disease Information Center ナディック通信

「広場ナディック」では毎月第1水曜日に季節に沿ったテーマなどでだれでも簡単に作成できるものを中心に手作り教室を開催しています。10月は『秋の味覚布貼り りんごと柿』を行いました。今後も随時開催を予定しています。

参加費は無料で予約も必要ありません。材料も全てナディックに用意されています。ボランティアさんが作り方を教えてくれますので、お子さんでも気軽に作ることができますので是非ご参加下さい。

- ・場 所 中央診療棟2階
- ・利用時間 平日10時～16時（年末年始及びゴールデンウィーク除く）
- ・手作り教室 毎月第1水曜日 13時30分～15時（広場ナディック内）



TOPICS 3

# 名大病院アメニティのご紹介 Part 2

名大病院内にある飲食施設から、本号では、「喫茶 つる」と「レストラン 花の木」をご紹介します。

## 喫茶 つる

どこか懐かしい雰囲気を感じさせる当店は、14階スカイレストラン「ソレイユ」と同じ名古屋観光ホテルグループ。メインは、魚又は肉料理をお選びいただける「つる特製弁当（1,080円税込）」。ボリュームがあるので、先生方にも人気です。また、つる限定「オムレツカレー」は密かな人気メニューです。特に12時～13時は混み合いますので、時間をずらしてのご来店をお勧めいたします。閉店時間が早いので、14時以降は「ソレイユ」をご利用下さい。



つる特製弁当

店内の様子



場 所：病棟13階  
営業時間：(平日) 11時～14時30分 ※ラストオーダー：14時



## レストラン 花の木

病棟1階にある「レストラン 花の木」は、朝8時から営業しており、コーヒー等お飲物やモーニングセットを、昼からはランチをはじめ様々なメニューをご用意しております。人気は、名古屋セット、磯おろしそばやハンバーグです。また季節メニューや昔なつかしいオムライス等がございます。メニューの成分表も備えたフルサービスのお店ですので、車椅子のお客様等お気軽にご利用下さい。スタッフ一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

場 所：病棟1階  
営業時間：(平日) 8時～20時 ※ラストオーダー：19時30分  
(土日祝) 8時～15時 ※ラストオーダー：14時30分



外観



名古屋セット  
(みそチキンカツとミニきしめん)

## 病院からのお知らせ

# 提案書からの改善報告

本院では、患者さんへのサービス・アメニティー等の満足度向上を目指し、患者満足度委員会において、院内に設置してある提案箱へ投函いただいたご提案からのサービス改善策を検討し実施しています。

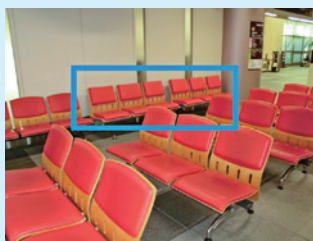
提案書は回収次第、患者さんのご意見の速やかな検討を現場で図るとともに、その後委員会にて、いただいた提案書の1件1件における対応策の検討を行うことで、サービス改善を実施しています。

サービス改善における主な内容については、外来棟1階中央待合ホールに設置されているモニターへの掲示により、患者さんへの回答を図っています。

### (院内における設備面の改善)

患者さんが利用する設備や機器などは、日々における点検や更新を実施しておりますが、平成26年度上半期における主な改善として、以下の実施を行いました。

- 1) 5E病棟のトースターの増設による、食事時間の混雑解消。
- 2) 病棟談話室の延長コードを設置による、点滴患者への利便性向上。
- 3) 外来棟中央待合ホールの椅子の増設による、料金計算待ち時間の負担軽減。
- 4) 病棟の病室前モニターの表示イラストを、より生き生きとしたイメージを与えるものに改善。
- 5) 病棟の看護師使用の台車の潤滑油による整備。
- 6) 採血室待合椅子の番号についての説明の、モニター表示。



12月6日(土)に「いつまでも頭スッキリ!暮らすためには」と題し、平成26年度鶴舞公開講座を開催しました。鶴舞公開講座は、平成17年度から医学部と附属病院が共催で、市民向け公開講座として、年1回開催しているものです。社会的に関心が高く、日常で役立つ話題をテーマとしています。今年度は、「ところが萎えても折れないためには」「認知症ケアの新しい流れ」「1日の始まりはどこから?～明日のための今日の睡眠～」の3つの講演を用意しました。いずれの講演でも、先生方が時折ユーモアを交えてわかりやすく紹介し、和やかな雰囲気の中、受講者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

当日は、雪交じりの天気でしたが、リピーターを数多く含む20代から80代の幅広い年齢層約220名が受講しました。受講者からは、大変参考になった、次年度以降もぜひ参加したいという声が多数聞かれました。



## 平成26年度鶴舞公開講座を開催

## 旧東西病棟とりこわし工事について

機能強化棟(仮称)新営に伴う旧東西病棟のとりこわし工事を下記日程にて実施します。工事期間中は、騒音、振動、通行規制等でご迷惑をおかけいたします。なお、工事期間は施工の進捗により変更することがありますので、よろしくお願いたします。



工事期間：平成26年12月1日(月)～平成28年1月頃 (H27.1～撤去工事開始 H27.2～地上躯体解体)

## 禁煙のお願い



患者さんの健康をサポートすべき医療施設として、病院敷地内の全面禁煙を実施しています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



# 消化器外科一 3Dプリンターによる 臓器模型を手術に活用

**消化器外科一**では、一昨年から肝臓の腫瘍(がん)切除の手術に肝臓の模型を利用し、高い成果を上げています。これまで複雑な肝切除の手術6例を成功させてきました。

## 模型を確認しながら腫瘍を切る

肝臓の腫瘍は手術中に超音波を当てて場所を確認しながら取り除きますが、さまざまな要因で腫瘍の位置が分からないことがあります。また、以前にも手術を受けて肝臓の形が変わってしまった患者さんの場合、複雑な手術となります。そんな時に役立つのが、臓器の模型です。現在は研究の一貫として、このような複雑な手術の場合に、臓器模型を作成しています。

写真は昨年10月に肝切除の手術を行った患者さんの肝臓の模型。白い枝は門脈、青い枝は肝静脈、白いかたまりが腫瘍で、実物の70%のサイズです。これを手術チームが事前にチェックしたり、手術室に持ち込んで腫瘍の位置などを確認しながら、本物の腫瘍を切っていきます。



イメージした形を立体的に出力できる3Dプリンター。これで作成した臓器の模型を、消化器外科一では実際の手術に使い始めています。研究を進めている伊神剛講師にお話を伺いました。



層が徐々に積み上がっていく、約14時間後に出力終了。形をなめらかにしたり血管に色を付けて完成です。

このような臓器の中の血管が透けて見えるスケルトンな模型は珍しく、日本ではおそらく初めての先進的な取り組みで、国内外から大きな反響を呼んでいます。

医師にとっては、腫瘍の位置が直観的に把握でき、チームでイメージを共有して安全に手術を行います。また事前に患者さんに模型を見せて説明できるので、理解してもらいやすくなりました。

## 将来は手術の予行演習にも

この臓器模型は、医療画像解析の研究を10年以上続けている名大工学部の森健策教授と共に開発しました。患者さんの肝臓のCTスキャンのデータ約400枚をプリンターに入力すると、0.02ミリの樹脂の

現在、高機能の3Dプリンターは高価なため普及するには時間がかかりそうですが、将来的に低コストででき普及すれば、たとえば実物大の柔らかい臓器模型を執刀医が模型で手術の予行演習をしたり、学生が練習台にすることができ、手術の技術は格段に進歩するはずです。もちろん他の臓器にも応用できるかもしれません。そうすれば、患者さんにもたらすメリットは飛躍的に上がるこ

## 健康講座

# 外科的矯正治療と顎骨実体モデルでの手術シミュレーション

歯科口腔外科長 日比 英晴

**遺** 伝や食習慣のほか外傷などが原因で上下顎の形や位置関係に不調が生じることがあります。それにより歯ならびだけでなく、かみあわせもおかしくなりますし、さらに頭痛や肩こり、あごが小さければ睡眠時呼吸障害が生じることもあります。その対処法として骨格を含めたかみあわせの治療があります。

外科的矯正治療は歯ならびを整えた上で、手術により上下顎のバランスをとってかみあわせをよくするものです。当科では90年代から増え、すでに千例以上の実績があります。対象はあごが出ている、下がっている、曲がっているなど骨格に問題があっ

ている方です。手術はあごの骨を切って再構成するものですが、すべて口の中からしますので、傷が見えるところに残ることはありません。難症例では患者さんの顎骨の実体モデルでシミュレーションをすることでより正確で安全な手術ができるようにしています。これは今では3Dプリンターの普及で身近になりましたが、当科では全国に先駆けて取り組み、高度先進医療の承認も得ていたものです。またエスティックラインを意識した治療ですが、矯正治療も含めてすべて保険適用です。このように制度にも恵まれているのは日本だけで、海外の学会では驚かれます。



上段：外科的矯正治療前後の変化  
下段：手術シミュレーション用の実体モデル

## ミニニュース

「コンサート」を開催しました。

中央診療棟2階リハビリ広場にて、9月26日(金)に名大の合唱団および吹奏楽団による工大祭コンサート、そして、10月16日(木)に女声コーラスの子会のオータムコンサートを開催しました。

季節を感じる曲目や話題の曲目など、皆さんと共に、楽しいひとときを過ごしました。



工大祭コンサート 吹奏楽団  
工大祭コンサート 合唱団



かの子会  
オータムコンサート

## 看護師募集



優しく、温かく、安全な看護の実践を目指して。

当院では看護師を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

● 看護部ホームページ  
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kango/index.html>